

報道発表資料
平成29年2月24日
気 象 庁

薩摩硫黄島の火口周辺警報を解除

- 噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）へ引下げ -

薩摩硫黄島では、平成29年1月1日から火山性地震が増加しましたが、1月下旬以降は徐々に減少し、2月5日以降は日回数が10回未満と少ない状態になっています。2月21日に鹿児島県の協力を得て実施した上空からの観測では、噴煙や熱異常域の拡大、温度の高まりは認められませんでした。

これらのことから、薩摩硫黄島の火山活動は低下しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなったと判断し、本日（24日）11時00分に薩摩硫黄島の火口周辺警報を解除して、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。

なお、活火山であることから、火口内では火山灰等が噴出する可能性があります。火口付近では火山ガスに注意してください。また、地元自治体等が実施している立入規制等に留意してください。

問い合わせ先

気象庁地震火山部火山課

電話03-3212-8341（内線：4538）